

お客様とともに

営業の考え方

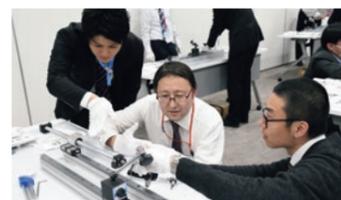
THKは社名に込められた3つの理念(Toughness: 頑丈で長持ちする製品の提供、High Quality: 世界最高品質の製品の提供、Know-how: お客様にノウハウを提供する「ソリューション企業」であり続ける)の下、お客様の心で考え、行動し、検証する「顧客志向」の立場で日々営業活動を行っています。

日本、米州、欧州、アジアの4極において、現地で生産して販売するという需要地における製販一体

制(営業拠点118か所、生産拠点35か所)を構築しています。また当社の営業拠点が無い地域のお客様が製品を購入できるようECサイトOmni THKを開設しています。さらに、当社製品を多くのお客様に知っていただくため2018年度は、国内で21回、海外で34回の展示会に出展しました。また、展示会以外にもお客様に直接ご説明する場としてのプライベートショーや技術セミナーを随時開催しています。

技術セミナー

THKは2018年5月から、より多くのお客様に当社のことを知っていただくために技術セミナーを開始しました。2017年10月の本社移転時に新設したショールーム*や建物下部に設置した免震層の見学を含め、当社製品をより身近に感じていただくカリキュラム



技術セミナーの1コマ

となっています。セミナーにはたくさんのお客様からの申し込みがあり、本社は

はじめとして5営業拠点で15回開催、300名以上のお客様にご参加いただきました。

管理・技術部門で意見を出し合い考えたセミナー構成としており、実際にご参加いただいたお客様から「とてもわかりやすく、勉強になった」等のお言葉をいただきました。

今後は参加されたお客様のご要望が多かった製品に沿ったカリキュラムの準備、また遠方のお客様に対して地方拠点での開催等、技術セミナーに工夫を凝らしていきます。

*本社ショールームは、営業時間内の平日8:30-17:30まで常時開放しています。

新エネルギー財団会長賞受賞

一般財団法人新エネルギー財団は、社会への新エネルギーの導入促進・普及・啓発を目的に新製品や活動に対し「新エネ大賞」表彰制度を設けています。2018年度は新エネルギー等の普及促進に大きな役割を果たす製品として「商品・サービス部門」で、THKの垂直軸風車用低トルクシャフトユニットWLSが新エネルギー財団会長賞を受賞しました。

WLSは小形垂直軸風車を構成するシャフトと軸受、軸受を保持するハウジングを一体化した、高強度で低トルク、高効率な軸受ユニットです。搭載する軸受は垂直軸風車専用の軸受を新たに開発し、大幅な低トルク化を実現したことでわずかな風から風車の始動を可能にする共に発電効率の向上を実現させました。また、シャフト等の主要部品からねじ一本に至るまで徹底的な最適化を行

い、風車の国際安全基準IEC61400-2や日本のJSWTA0001に基づいた十分な強度と耐久性、高い安全性を確保しています。

WLSは従来風車メーカーが難航してきた回転機械部品の設計、軸受の組立精度管理や予圧調整といった複雑な工程を満たす完成体ユニットとして提供されています。ユーザーである風車メーカーはWLSを用いることで工数の削減と共に、風車の大幅な性能向上が実現でき、今後海外市場を含めた展開が期待できる点が評価され受賞にいたりしました。



新エネルギー財団会長賞を受賞したWLS

お客様の声



THKに学ぶ「顧客志向」の営業姿勢 广州市敏嘉制造技术有限公司

総経理 サオ 趙 フー 虎 様(左)
副総経理 リ 李 イェンイェン 媛媛 様(右)

— 御社の概要についてお聞かせください

当社は、2001年にコンプレッサ部品部門、工作機械とロボット基幹部品部門の2つ軸とするメーカーとして設立しました。“お客様へ省エネルギーで高効率な工作機械、競争力のあるソリューションや優秀なサービスを提供する”ことを企業理念に掲げています。蘇州、広州、宝鶏の3市に生産拠点と営業部門、また広州には開発部門があり全従業員約300名の内60%が従事しています。独自の技術開発力が評価され、2015年、2017年そして2018年の3回にわたり全世界で加盟している金属加工業社の中から中国企業としては唯一となる技術創出賞を受賞しました。現在、100件の特許を保有しており、ボールねじ、LMガイド、ベアリング製造装置では、中国国内の他社を一步リードしています。

— THK製品との出会いについてお聞かせください

約30年前だったと思いますが、私が他社の工作機械の開発部門で働いている時にTHKの営業の方から製品説明を受けました。THK製品は初めて見たのですが、将来はすべり案内からころがり案内に代わると確信を持ちました。そこで敏嘉では競合他社よりは10年早く、試作機も含めてLMガイドを使用しています。LMガイドの採用により生産性が飛躍的に向上し、高品質な複合機を開発する

ことができました。率直に言って、THKと出会わなければ、当社の技術向上はなかったと思います。何故かという、私どもはTHK製品を購入すると同時に、生産設備をTHKの中国工場に納めさせていただいているからです。THKは納入品に対する品質要求は大変厳しく、私どもの企業精神の1つである技術創出に対するヒントを多分に与えてくれます。THKの満足する機械を製造することで、いつのまにか自然に高品質な製品が作れるようになりました。特にTHK常州精工さんとは頻りに技術交流を行っており、当社独自の複合機開発にいたっています。

— THKの技術、サービスをどう思われますか

私どもが目指す世界一の機械生産には、品質が安定しているTHK製品は不可欠です。私どもの工場に近い広州市に事務所があり、何か困った時には営業の方がすぐに駆けつけてくれるので大変助かっています。THKは大企業ですが、昔から全てのお客様に同等に接する姿勢は全く変わっていません。私はよく展示会に顔を出しますが、THKの説明員が中小企業の方にも一生懸命製品説明する姿を目にし、昔から変わらない将来を見据えた営業活動をされていると感心します。THKのお客様の心で考え、行動し、検証する「顧客志向」の営業活動が正に実践されており、私どもの企業理念にも反映させています。寺町社長にお目にかかる機会にも恵まれ、振り返ってみれば業界の会議よりもTHKの方とお会いする時間の方が多いほどです。私から積極的に関係業界の方にも声をかけますので、新製品が出た際には説明会を設けていただければと思います。今後もTHKとの良い関係を保ち、技術の研鑽に励んでまいります。

最後になりますが、THKのCSRレポートで、最初の海外ユーザーとして紹介されると聞きました。当社を選んでいただき、大変光栄に思っています。



2017年に技術創出賞を受賞した4軸複合旋盤

取引先とともに

- 資材部方針**
1. グローバル調達 *最適地調達の推進
 2. 発注業務スピードアップ *AIを利用した購買システムの開発
 3. 提案の活性化 *取引先とのコミュニケーションを倍増させてVA提案・生産改革を活性化し推進する

THKは最適地生産に向けた、またお客様の要求を満たすための業務処理や技術力向上に向けた取り組みを目的にした方針の下、日々の業務を行っています。

一方、サプライチェーンにおいて持続可能な社会の実現に向け、設計から販売まで社会規範の遵守や環境への配慮を図っています。

2018年度は国土交通省から通達された新たな荷主勧告制度*を受け、運送業者の業務軽減に向けた取り組みとして商品センターの出荷締め時間を従来の16時から15時へ1時間繰り上げました。また当社では当制度の運用開始に伴い、運送事業者に対して右記の主體的な関与を抑制する活動を行っています。

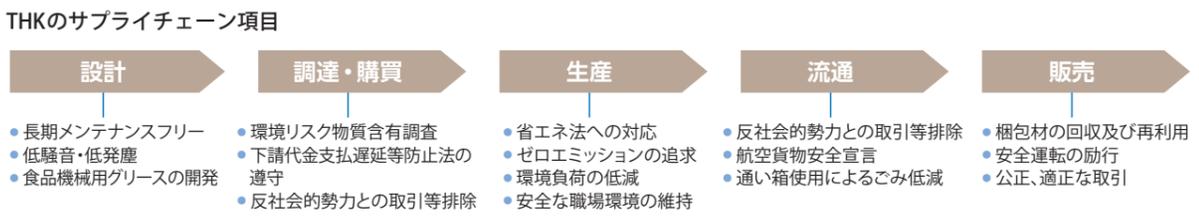
1. 荷待ち時間の恒常的な発生
 2. 非合理的到着時刻の設定
 3. やむを得ない遅延に対するペナルティ
 4. 重量違反等となるような依頼
- 今後も当社のCSR活動を推進する上で取引先様の声を反映する一方、仕入先様に対するCSRアンケートの実施を行う等、サプライチェーン全体を巻き込んだ活動を実施していきます。

***荷主勧告制度**
貨物自動車運送事業法第64条に基づき、トラック運送事業者の過積載運行や過労運転防止措置義務違反等の違反行為に対し行政処分を行う場合に、当該違反行為が荷主の指示による等主として荷主の行為に起因するものと認められるときは、国土交通大臣が当該荷主に対し違反行為の再発防止のための適当な措置を執るべきことを勧告するもの。

THK 購買基本方針
お客様に満足していただけるTHK製品を供給し続ける為に、取引先と共存共栄を目指した健全で良好なパートナーシップを構築する。

活動項目

1. 取引先とのコミュニケーションを重視した購買の実践/QCDESを総合的に考慮して、評価・選定を行う
2. 関連法令および社会規範を遵守した公正かつ公平な取引の実施
3. 原価低減の為にコストダウン推進/各種プロジェクトおよびVA提案等への積極的参画を促す
4. グローバル調達の推進
5. BCP(事業継続計画)の実践
6. グリーン調達による環境への配慮



仕入先との協業

THKは仕入先と加工に関して技術交流会を開催する等、お互いに技術の研鑽に努めています。THK会加盟企業様からは加工技術に関するVA(Value Analysis)提案が積極的に行われ、2018年度は550件と2017年度の467件に比べ大幅に増えました。

お客様の声

VEC賞受賞に結実した技術提案および高品質製品

株式会社 日立ハイテクノロジーズ



- 医用システム製品本部 本部長
坂詰 たく 様(中)
- 医用システム第一設計部 統括主任技師
川原 鉄士 様(右)
- 医用システム第二設計部 主任技師
坂下 敬道 様(左)

— 日立ハイテクノロジーズ様とアナリティカル・ソリューション製品の紹介をお願いします

当社は「ハイテックプロセスをシンプルに」という企業ビジョンを掲げ、血液自動分析装置を含むバイオ・メディカルシステムと科学機器を提供する「アナリティカル・ソリューション」、半導体製造装置と電子顕微鏡を提供する「ナノテクノロジー・ソリューション」、そして社会・産業インフラ、自動車・輸送機器等を対象分野とした「インダストリアル・ソリューション」の3事業を展開しています。当社のコア技術である「見る・測る・分析する」を基盤に技術・製品・サービスを提供し、お客様の課題解決に貢献しています。

— 医用システム部門でのTHK製品の採用と今回弊社がVEC(Value Engineering for Customers)賞を受賞できた経緯を教えてください

当社が提供する血液自動分析装置は、医療機関で血液検体の化学的組成を定量測定するものです。数百ある測定項目は年々増加しています。かつて医療機関では「今日採血して検査結果は来週」でした。現在は、血液自動分析装置の高速化等の進歩により、医師は採血後約一時間で検査結果を見て診断できます。血液自動分析装置は、血液検体と数種類の試薬を精密に定量混合し、温度制御下で反応させて発色・発光を光学的に検出します。エレクトロニク



免疫分析装置cobas® e801
©2019 F. Hoffmann-La Roche Ltd

スを駆使したメカトロと計測を一体化したシステムです。分注や容器移動の各機能を回転運動と直線運動を組合せた三次元的な動きによりコンパクトに実現します。そのうち、高速度、精密な直線運動を実現するのがTHKさんの直動システムです。

血液検査の領域は、高速化と経済性の改善で発展してきました。我々は海外の体外診断薬企業と共同で装置を開発しています。診断薬企業は、実績のある検査キットの性能に加えて高速化を望んでいました。加えて信頼性と経済性を両立させるという難題に挑んだのが免疫分析装置cobas® e801です。開発の初期段階から、THKさんの営業販売部門・技術部門と、当社の調達部門・設計部門が一体となり改良、改善に挑みました。これは弊社が進めるVEC活動の典型例です。活動を活性化させるため、当社ではVEC賞を設置しています。2018年度は約1,500社ある仕入先の中でTHKさんが受賞されました。当社製品に対して、製品価値、納入実績そして法規制の対応等を総合的に評価した結果です。また過去に3度、当社のベストパートナー賞の実績があります。

— 今後、THKに望むことは何でしょうか

血液検査装置は、製品が当社で完成した後も、診断薬メーカーや臨床検査室における評価に一定の時間がかかります。その間は、THKさんに発注がなくなってしまう。そして、販売開始となると今度は一気に納入台数が増加する。このような開発サイクルをご理解いただき、タイムリーに増産できる体制をまずお願いしたい。また自然災害への備えも重要であるため、2次、3次メーカーを含めたBCP体制を確立していただきたい。さらに最近では輸出のための法令対応も重要であるため、年々拡大するRoHS規制、油脂類も含めた輸出規制の迅速な対応は非常に助かります。そして今まで以上にたゆまぬ研究開発と新たな付加価値提案を期待しています。

品質保証体制

品質方針 品質保証活動を通じ、常にお客様の信頼と満足が得られる製品を供給する

THKは、国内外の各生産拠点において品質マネジメントシステムであるISO9001を認証取得し、工作機械や半導体製造装置、医療機器、ロボット、免震・制震装置等を生産する産業機器事業の品質保証体制を基盤とし、自動車産業をはじめとする輸送機器事業、また航空宇宙産業等、新たな分野に適応する各種品質セクター規格を認証取得し、品質保証体制を構築しています。

また、協力会社ならびに仕入先についても、定期的に品質マネジメントシステムに準拠した品質監査を実施し、万全な品質保証体制のもと、日々、製品品質の維持・向上に取り組んでいます。

さらに、グローバルで品質情報を共有できる体制を構築し、世界各地のお客様から届けられる声を収集・解析し、迅速かつ適切なサービスをご提供するとともに、市場ニーズに応えられる製品の開発、品質改善に取り組んでいます。

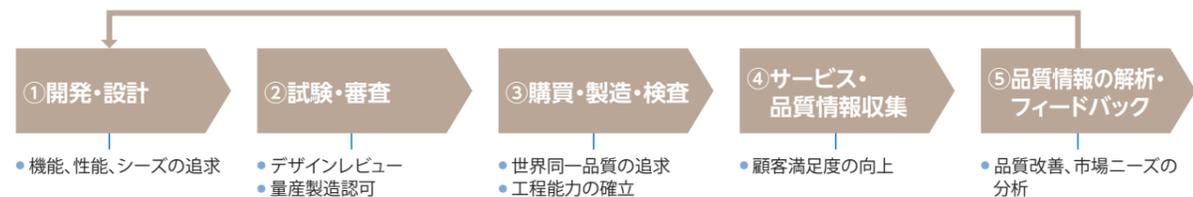
品質システム概要



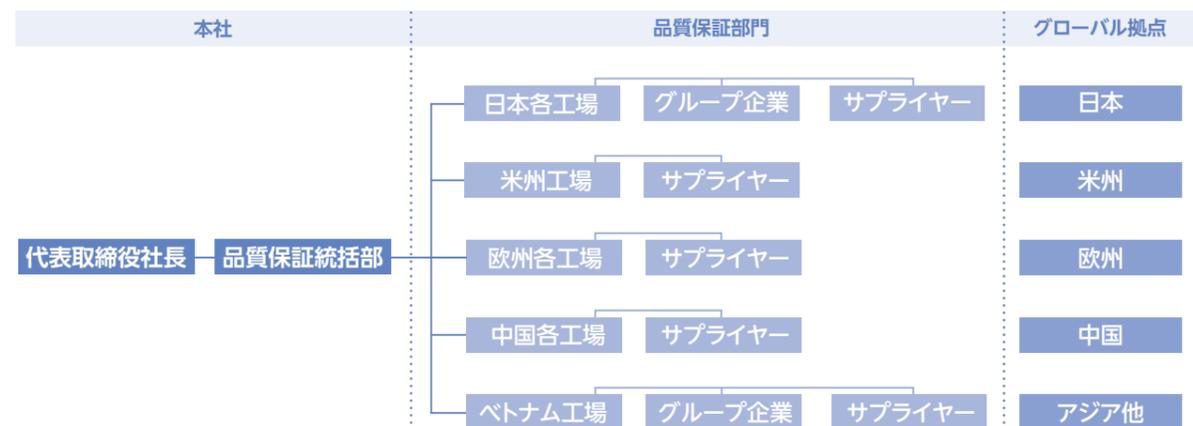
品質マネジメントシステム認証取得状況 (拠点数)

	ISO9001	JIS Q 9100 航空宇宙産業用	ISO/TS16949 自動車産業用	IATF16949
日本	11	1	1	—
海外	13	—	7	6
合計	24	1	8	6

品質マネジメントプロセス



グローバル品質保証体制



株主とともに

THKでは、公正・公平・迅速かつ、正確でわかりやすい開示を心がけてIR活動に取り組んでいます。決算説明会やIRミーティング等のIRイベントに加え、IRサイトやアニュアルレポート等のIRツールにおける開示情報の充実と質の向上に努めています。

主なIR活動

IRイベント	IRツール
IRミーティング	IRサイト
海外ロードショー	アニュアルレポート
決算説明会	インベスター・インフォメーション(ファクトブック)
株主総会	

- 年間500名程度のアナリストや機関投資家と面談
- 海外の機関投資家を対象に社長によるIRミーティングを実施
- 中間・期末で2回開催、プレゼンテーション資料および動画をIRサイトで公開
- 集中時期を避けた土曜日開催、展示会を併催
- 各種IRツール、個人投資家向けコンテンツを掲載
- 会社概要、経営目標、中長期的な戦略等を収録
- 詳細な財務データを収録

IRサイトのご紹介



IR情報

1. IRライブラリ

決算短信や詳細な財務データを収録したインベスター・インフォメーションをはじめとする各種IRツールを掲載しています。毎年2月、8月に開催される決算説明会の後にはプレゼンテーション資料および動画をご覧いただけます。

2. IR情報メール配信サービス(RIMSNET)

登録者を対象に決算発表や各種リリース等のニュースメールを配信しています。

登録サイト <https://rims.tr.mufg.jp/?sn=6481>

*IRメール配信サービスは、三菱UFJ信託銀行株式会社が運営しています。

3. 個人投資家の皆様へ

当社の沿革や経営戦略、当社製品の採用例等の基本的な情報を掲載しています。

株主総会



第49期定時株主総会の様子

THKでは、「開かれた総会」をコンセプトに1998年から集中時期を避けた土曜日に株主総会を開催するとともに、見学席を設け、取引先をはじめとするより多くの方々にご参加いただいています。

さらに、当社製品をより身近に感じていただくために展示会を併催し、工作機械や産業用ロボットに加え、輸送機器、免震装置等、当社製品の活躍フィールドをご紹介します。

安全・衛生

マネジメント体制

THK国内5工場は2010年に労働安全衛生マネジメントシステム(OHSAS*18001)認証を取得しました。2018年度は方針の下、積極的な活動を推進しました。2019年はOHSASが2021年に廃止され

るのに伴い、労働安全衛生マネジメント[ISO45001*]へ移行して活動していきます。

*OHSAS: Occupational health and safety management systems
*ISO45001: 2018年3月に発行。労働安全衛生マネジメントシステム規格

方針 労働災害: 0件、疾病: 0件で快適な職場作り

2018年 生産本部 労働安全衛生活動項目一覧表

目標	No	活動内容	結果
1.労働安全衛生マネジメントシステム(OHSAS18001)を、全員に浸透させる	1	リスクアセスメントの実施と職場安全教育推進	○
	2	関係法規の整理と周知(化学物質のリスクアセスメント)	○
	3	内部監査の準備と実施(相互監査)	○
	4	マネージメントレビューの実施	○
2.安全衛生委員会の活動を活性化させる	5	防災対策の推進	○
	6	交通安全活動の推進(交通災害: 0件目標)	×
	7	職場内安全パトロールの実施	○
	8	5S(6S)活動の推進	○
3.労働災害の撲滅	9	無災害記録310万時間の達成(第一種無災害記録) 労働災害の発生を防止する(労災: 0件) ヒヤリハット活動を推進する(製造: 月1件/G毎、間接: 月1件/課毎)	×
	10	機械の完全停止の確認を徹底する	×
	11	初心者(派遣社員、中途社員)への教育を徹底する	○
	12	構内協力企業・外来者への指導を推進する	○
4.健康管理の充実	13	定期・特殊健康診断の実施	○
	14	メンタルヘルスの推進	○
	15	ストレスチェックの実施	○
	16	疾病の予防活動推進	○
	17	産業医の指導に基づく改善活動	○

度数率・強度率

	2014	2015	2016	2017	2018
度数率	0.20/1.66	1.13/1.61	0.25/1.63	0.82/1.66	0.76/1.83
強度率	0.00/0.09	0.01/0.07	0.00/0.10	0.01/0.09	0.01/0.09

(THK/全国平均(%))

度数率: 労働災害発生の頻度を表わす
[度数率=(死傷件数)÷(延労働時間)×1,000,000]
強度率: 労働災害発生の軽重程度を表わす
[強度率=(延労働損失日数)÷(延労働時間)×1,000]

※2017年度以降は決算期の変更により、対象期間は1月1日～12月31日、2016年度までは4月1日～3月31日となっています。

健康診断受診率

THKは年1回の定期健康診断を実施し、さらに健康保険組合の健康診断を推奨しています。健康診

断受診率および健康保険組合の健診種目は、次の通りです。

健康診断受診率(THK単体)

	2014	2015	2016	2017	2018
健康診断受診率	100%	100%	100%	100%	100%

健診種目

成年者健診	35歳未満
成年者胃検診	35歳未満
生活習慣病予防健診	35歳以上
1日人間ドック	35歳以上
子宮がん・乳がん健診	—

RIZAP(ライザップ)

健康診断受診前の問診票結果から健康保険組合連合会の統計に比し、本社部門では運動習慣率が低い一方、就寝前2時間以内に夕食を取る率が高いことがわかりました。そこで生活改善のきっかけとなるように2018年11月、RIZAPセミナーを開催しました。

セミナーには44名が参加。生活習慣の振り返り、目標設定、RIZAPメソッド(低糖質の食事・運動等)の講話に続き、正しいストレッチやスクワット運動を実践しました。参加者からは好評を受け、

食事・運動実践編、女性編、セカンドライフ編等の内容での継続開催の要望が出ました。



ストレッチ運動

安全道場の開設

大連THKでは、安全・品質・技能向上を目的として2018年9月に大連THK道場を開設しました。その中でも安全道場では「安全は全てにおいて優先される!」「訓練を通じて安全意識を植え付け、絶対に労災が起きない職場を目指す!」をスローガンとして活動しています。

ここでは基礎安全知識やKYK(危険予知訓練)等を学ぶ「教育エリア」と機械への巻き込まれや感電といった怖さを体感する「体験エリア」があります。12月末までに28回開催し、約940名の社員が参加しました。大連THK道場にて常に訓練を

実施し、安全はもちろん品質や技能向上を図っています。



真剣に説明を聞く受講者

メンタルヘルス講習

職場におけるメンタルヘルス不調や過重労働による健康障害等が現在の労働衛生分野では重要な課題となっています。そこでTHKリズム浜松工場では2018年10月、全国衛生週間にあわせて開催している社内行事として、メンタルヘルスに関する衛生講話を産業医の幸田先生に行っていただきました。

約100名の管理監督者が参加。聴講者からは「鬱にかかってから復職するまでを本人・同僚・会社側といった異なる立場からの説明があり、分かりやすい講義であった」「自分の身の回りでも起こりえる事なので、良く知っておくいい機会であった」等の意見が寄せられました。今後もメンタルヘル

スに対する認識をさらに深めることで、より良い職場環境となるよう改善を図っていきます。



講話を行った幸田隆彦先生

成長支援

人事データ集

	2016			2017			2018		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
離職率(%) ^{*1}	1.5	1.3	2.4	1.0	0.8	1.9	1.8	1.7	2.4
勤続年数(年)	18.3	19.0	14.2	17.5	18.1	13.7	17.1	17.7	13.8
育児休業対象者数	131	112	19	248	209	39	234	194	40
同取得者数	21	2	19	41	2	39	46	3 ^{*2}	43 ^{*3}
同復職率(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100
同定着率(%)	97	100	97	100	100	100	100	100	100
育児短時間取得者数	71	0	71	69	3	66	59	2	57
障がい者雇用率(%) ^{*4}	2.17	—	—	2.20	—	—	2.12	—	—

^{*1} 離職率は、正社員のみを集計となります。 ^{*2} 内、延長1名
^{*3} 内、延長3名 ^{*4} 法定雇用率：2.20

離職率 = $\frac{\text{年度内離職者数}}{\text{期末在籍者数}} \times 100$ 復職率 = $\frac{\text{育児休業後、復職した従業員の総数}}{\text{育児休業後、復職する予定だった従業員の総数}} \times 100$

定着率 = $\frac{\text{育児休業から復職した後、2か月が経過しても在籍している従業員の総数}}{\text{前の報告期間中、育児休業から復職した従業員の総数}} \times 100$

技能検定試験合格者

	2018年度合格者		2018/12/31未計	
	男	女	男	女
金属熱処理	6	0	101	1
機械加工	10	0	325	1
放電加工	1	0	7	0
仕上げ	0	0	26	0
電気機器組み立て	1	0	7	0
機械検査	6	1	239	12
空気圧装置組み立て	0	0	7	0
油圧装置調整	0	0	23	0
プラスチック成形	0	0	4	0
機械・プラント製図	0	0	99	2
電気製図	0	0	0	0
金属材料試験	0	0	59	0
機械保全	7	0	374	0
計	31	1	1,271	16

対象：THK国内12工場

THK共育プロジェクト2年目の活動内容

2017年、ものづくり企業としての経験を生かした「主体的な学び」への支援を目的として、株式会社リバネス*様と共同で「THK共育プロジェクト」を始動させました。2018年度は、中学生を対象とした『ものづくり出張授業』の実施と『ものづくり教材プログラム』の開発を行いました。出張授業は3月に開智日本橋学園中学校で2回、また教材に関しては中学校の先生方をTHK本社にお招きして主旨説明会を開催しました。さらに説明会後には

検討委員会にも出席いただき、THKの考える次世代人材像に対する先生方の意見を反映したうえで教材内容を作成しました。

また、2017年度に続き「第2回サイエンスキャスル*研究費THK賞」を開催しました。34件の応募から10件のテーマを採択し、THK賞は聖光学院中学校高等学校が受賞しました。

* (株)リバネス：「科学技術の発展と地球貢献を実現する」ことを理念とし、理系人材の育成と次世代教育に取り組む会社
 *サイエンスキャスル：(株)リバネス様が主催する中高生のための学会

出張授業参加者の声

- たくさんの道具を使って工作することができて、楽しかった。
- 生徒一人一人がアイデアを出し合えるという場がとても良かったです。

先生方の声

- 「探求」に力を入れることを促す学習指導要領なので、答えのないものを作る今回のプログラムはその内容とよくあっていると思います。
- 生徒はみな、とても意欲的に取り組んでいたと思います。生徒が長時間でも全く集中力を切らしていなかったのは、本プログラムの有効性の表れだと思います。

サイエンスキャスル研究費THK賞受賞者：聖光学院中学校高等学校



聖光学院中学校高等学校のメンバー

サイエンスキャスルという、自分達の研究成果を発表できる場の提供に感謝しています。また、研究の題材としてLMガイドを利用し、私たちが考える社会問題の解決に向けた独自の実験・開発を通してTHK賞受賞となった事に誇りを持っています。

私たちはまず世界で起こっている、社会問題を議論しました。エネルギー問題、食糧不足、人口爆発等ですが、全ての問題は土地不足によるものではないかと結論付けました。そこでまだ十分に活用されているとは言えない「海上」の有効利用に着目し、海上で土地利用ができれば土地不足の解消が図れ、日本の高い技術力を世界にアピールできると考えました。

私たちの計画は人工島を作り、島を取り囲む浮体にRガイドを取り付けて押し寄せる波の揺れを吸収しようというものです。小型の模型を製作し、アクリル製のプール内で波を発生させ島の揺れを

計測したところ、わずかですが浮体が揺れを吸収していることが分かりました(写真参照)。

実験はまだ道半ばです。来年も試行錯誤の実験を繰り返しながら、少しでも満足いく良い成果を出したいと思います。



波の揺れを浮体が吸収、Rガイドの効果で陸地に揺れは伝わらない



基礎技術研究所 信頼性研究課
あおやま 将大 青山 将大

技術アドバイザーの感想

海上に土地を作るという非常に壮大なテーマの着想と、仮説と検証を繰り返して少しずつ実現に向けて進んでいく姿勢は本当にすばらしいと感じました。今後の研究活動に期待し、陰ながら応援したいと思います。

努力賞を受賞—計測機器検定員ひと筋—

山口工場 品質保証課
ふじもと ひろゆき
藤本 博之



測定室の自席にて

2000年の入社以来、工場内で取り扱っているすべての計測機器の校正および修理対応を担当しています。校正とは測定器が正しく作動し正確に測定値を表しているかの検査、修理は故障時の修理や業者への依頼を指します。故障原因は浸水や浸油、落下等があり、業者に依頼すれば楽なのですが、コストや時間を考慮し極力自分で修理します。

修理作業は自分に合っていて、修理できた時の達成感は何とも言えません。2018年9月には私の仕事に対する取り組みが評価され、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構から理事長努力賞表彰を受けました。

思い起こせば、聾学校時代の工場見学がTHKを知るきっかけでした。社員の方々の丁寧な対応に、良い会社だと思い入社を決めました。実際に働いてみて思うことは、山口工場の方々は積極的に声掛けをしてくれる等、体から溢れる優しさを感じます。今回の努力賞受賞も周りの方々の協力のおかげだと感謝しています。今後は県知事賞や厚生労働大臣賞等を目指して頑張ります。

県知事表彰



数々の障がい者向け基調講演や地方公共団体主催の障がい者の方に接する指導員や新任教育者向け講習会講

師、また山口労働局委嘱の障がい者就労支援アドバイザーとして積極的に活動している事が評価され、山口工場 総務課 吉永副課長は県内では個人として3人目となる表彰を2018年9月に山口県知事より受けました。

地域社会

THKの考え方

THKは「よき企業市民」として、積極的に社会貢献活動を行います。具体的には、

1. 事業活動を通じて社会貢献することを基本理念と定める
2. 自社の経営理念等を踏まえつつ優先的に取り組む課題領域を特定し、経営資源を活用して貢献活動を推進する
3. NPO・NGO、地域社会、行政、国際機関等、幅広いステークホルダーと連携・協働する
4. 従業員の自発的な社会貢献参加を支援する
5. 業界や経済界としての社会活動に参画するとしています。

2018年度は国内外を問わず多発する自然災害をはじめとする支援金の提供、また若者にもものづくりの楽しさを体験してもらおうと国内・海外の10生産拠点でインターンシップを開催し、計184名を受け入れました。

港区マラソン大会

2018年12月に本社所在地の東京都港区で開催された「MINATOシティハーフマラソン2018」に協賛し、5名の社員がコース整理のボランティアとして大会運営をサポートしました。また折り返し地点の一つとなったTHK本社前には救護所の場所を提供し、参加されたランナーの皆様が安心してマラソンを楽しめるようにも配慮しました。

当日は晴天にも恵まれ、また当社社員19名もランナーとして大会に参加しました。今後も当社の拠点がある地域に密着した活動により、地域住民とのコミュニケーションを深めていく所存です。



折り返し地点の一つとなったTHK本社前

寄付

日付	寄付目的	寄付送金先
H30.6	大阪北部地震	日本赤十字社
H30.7	平成30年7月豪雨	日本赤十字社
H30.9	北海道胆振東部地震	日本赤十字社
H30.10	インドネシア・スラウェシ島地震	日本赤十字社

かがく博覧会

2018年9月下旬の2日間にわたって、おのだサンパークで「第9回かがく博覧会」が開催され当社山口工場も出展しました。テーマは「科学・理科に対する興味・関心や好奇心を呼び起こし、多くの人に科学の魅力や面白さを知ってもらう」で、THKは取り扱っている製品材料の鉄を利用した砂鉄時計作りを担当しました。

両日共多くの方が会場に立ち寄られ、真剣な眼差しで時計作りに没頭していました。結果、用意していた150本以上の材料が全てなくなるほどの盛況でした。

子供たちが「なぜ？」という疑問を持てるテーマを提供し、科学や理科に興味・関心を持ってもらえるように今後も活動を進めていきます。



(上) 真剣に取り組む参加者
(下) 完成した砂鉄時計

豪雨に対する被災地支援

2018年8月、台風18号(アジア名ルンピア)が中国大陸に上陸した影響で、山東省潍坊市、東營、荷沢、泰安をはじめ13市が被害に遭いました。約509万人が被災し、18人が死亡、9人の行方不明者を出し、直接の経済損失額は約120.8億元(約1,933億円)にのびりました。また豪雨の影響で周辺の冶源ダム、淌水崖ダム、黒虎山ダムの貯水量が大幅に上昇したため一斉放水を行った結果、下流に位置する寿光市では大規模な洪水が発生し、住宅、田畑、ビニールハウス、養豚場等が水に浸かり、深刻な被害を受けました。



集められた救援物資

THK遼寧ではすぐに被害地への寄付を募り、約100名の社員から集まった衣服や布団等を、寿光市慈善総会に送りました。

地域活動



TRAカナダSt.Catharines工場
マイクさん(左から2番目)

私は25年前から空手を始め、現在ではShintani Wado Kai Karate Federationで10年以上にわたり、7～75歳までの生徒さん約20人に指導を行っています。空手を通じて、他人を敬う心、自分に対する自信、そして自制心を養うことができると考えています。

当会では稽古を通じて、組織の中でどう振舞うべきかが自然と身に付きます。入会当初は大人しく、恥ずかしがりやで自分に自信がない人でも、1年もすればクラスを引っ張っていける程に成長しています。空手を行うことで実生活上、例えば大勢の人前でも自信を持って発言できるような人に育って欲しいと思っています。

地域住民との共生

THK遼寧の孫副総経理は、2012年に大連市行政区の1つである大連金普新区の政協委員に就任して以来、毎年地域住民の要望を取り入れた提案を行っています。2017年度に提案した「養老サービス体制の強化」は、両親が共働きの子供たちにお年寄りと触れ合えるコミュニティーセンターの設立を目指すというものです。この提案は大連金普新区の第7回優秀提案賞を受賞し、同時に大連市の施策として採用されました。

大連市は2018年3月に「2018年大連市住民とお年寄りのコミュニティーセンター建設の指導標準」を公布し、今後養老サービス体制の強化を進めていく予定です。



委員会にて(右奥の方)

関ヶ原合戦祭り2018

岐阜工場は、2018年10月に開催された「関ヶ原合戦祭り2018」にみたらし団子、フランクフルト、ソフトドリンクを供する模擬店を出しました。祭りは2日間にわたり開催され、両日も天候にも恵まれ約6万名の見物客が来場し大変盛り上がりしました。また当社模擬店は大盛況で、参加した社員17名は忙しい中でも充実した時間を過ごすことができました。また当社は社員駐車場を祭りの期間は来場者用に開放し、多くの方にご利用いただきました。当社の協力体制に対しては、関ヶ原町関係者から感謝の言葉をいただきました。

この祭りは毎年開催されますが、地域の活性化につながるように今後も積極的にお手伝いをしていく所存です。



THKの模擬店